

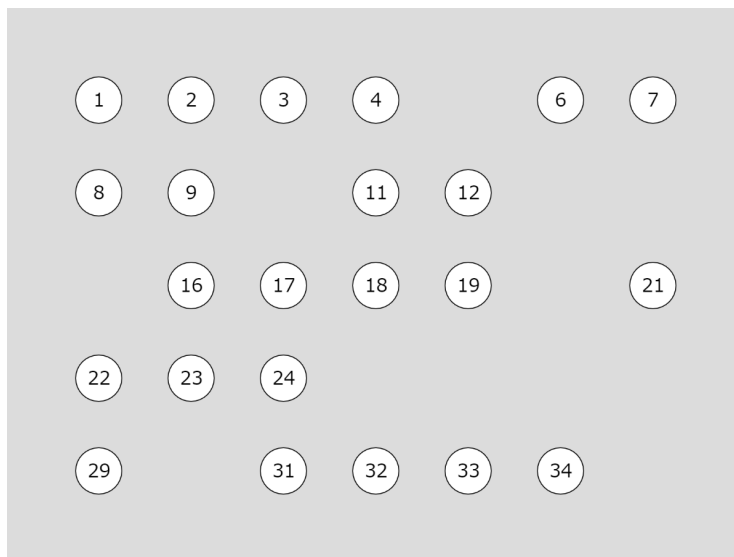
第6週 発展課題

キャンバスサイズを自由に変更しても以下の仕様を満たす図を描画したい。

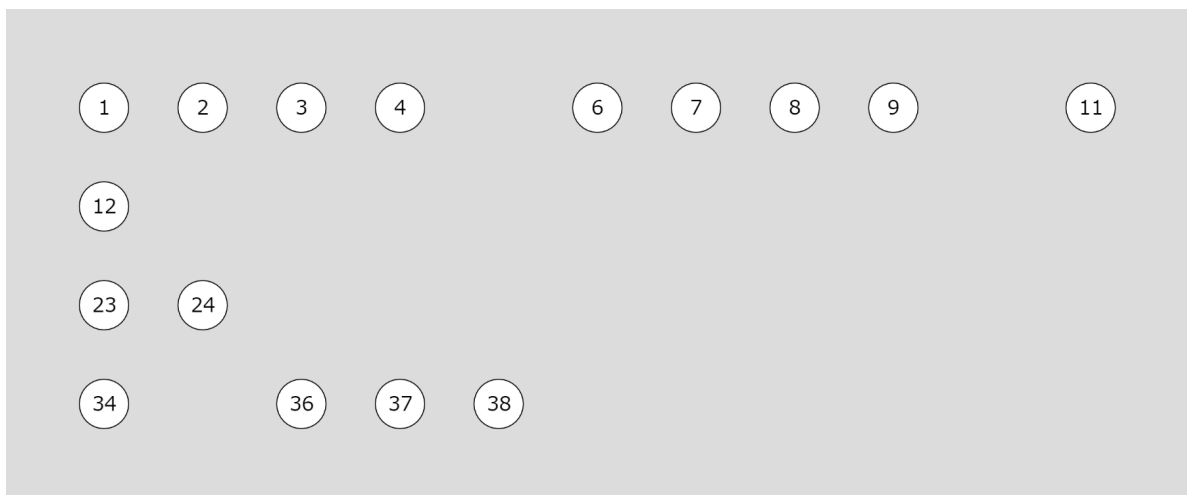
- 円の直径は50、左上隅の円の中心座標は(100, 100)とする
- 円はx方向／y方向とも等間隔(中心の間隔は100)で並んでいる
- 円には“通し番号”を付ける(後述)
- 通し番号が5の倍数になったときは、円を描画しない
- 通し番号が13の倍数になったときは、そこから右端まで円を描画しない

番号の描画はtext関数を使用する。例えば、座標 (x, y) の位置に変数cntの数値を描画するとき
は「text(cnt, x, y);」と書く。数字の大きさを変更するのは「textSize(20);」など。

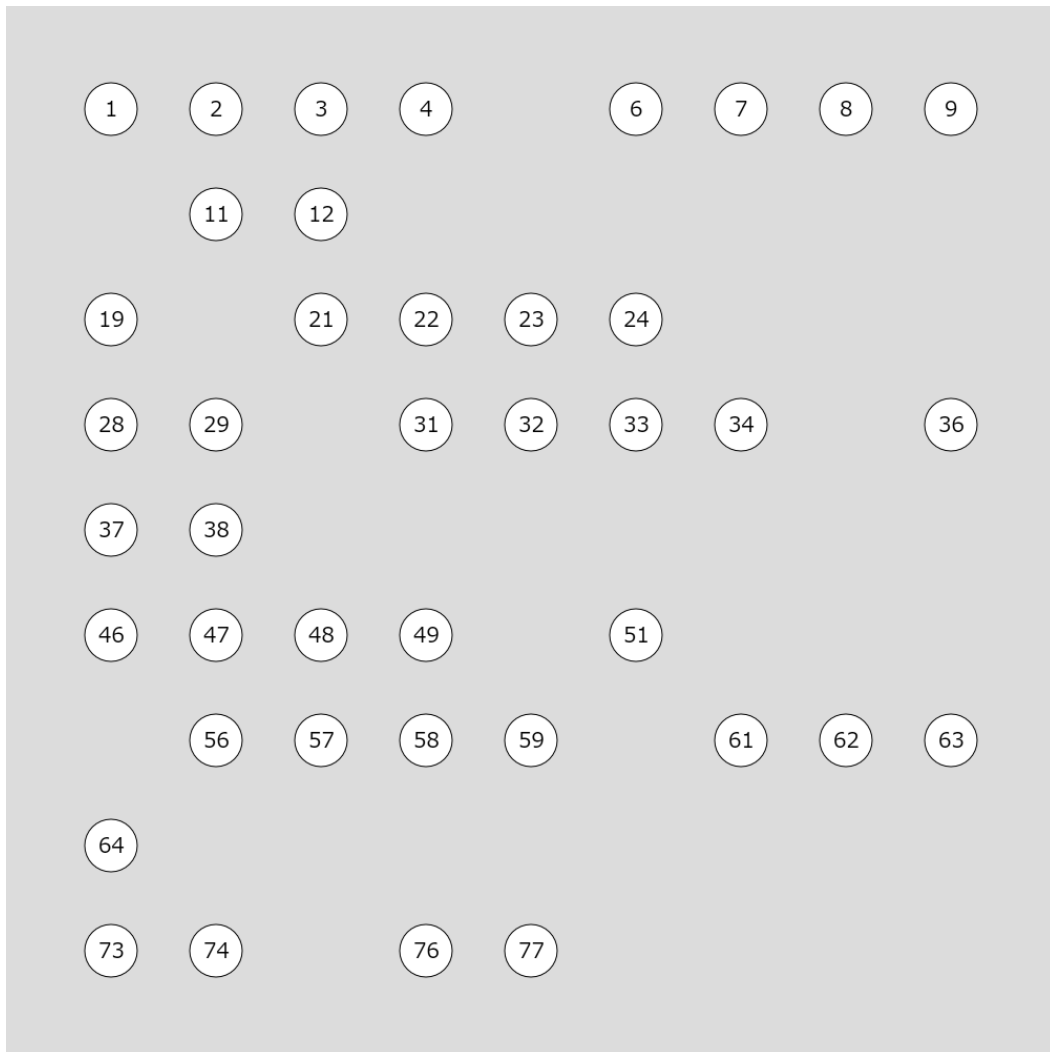
(注) 以下の図は見やすさのために数値の描画位置を微調整している(やらなくてよい)



キャンバスサイズが800×600の場合



キャンバスサイズが1200×500の場合



キャンバスサイズが1000×1000の場合

ヒント1 (穴開きコード)

```
let cnt = 0;
for (let y = 100; ...) {
  for (let x = 100; ...) {
    ...
    circle(x, y, 50);
    text(cnt, x, y);
  }
}
```

ヒント2: 通し番号が13の倍数になったときの次の通し番号は、キャンバスの幅と現在の円のx座標から求めることができる。